

新採用職員



<Index>

- ・ランニングチーム院内掲示板を寄贈
- ・心臓血管外科における治療について
- ・CT装置をリニューアル
- ・新任医師の紹介

ランニングチームの贈呈式



CT装置リニューアル



ランニングチーム「DALE! DALE! コクサイ」が大和市立病院の院内案内図を寄贈

英語表記による院内の案内図を、市内ランニングチーム「^{ダレ}DALE! ^{ダレ}DALE! コクサイ」に寄贈していただきました。この目録の贈呈式が3月29日に行われました。

同チームは、大和市とその周辺地域に暮らす外国人と日本人で構成され、昨年5月から、地域に住む外国人のさらなる健康に願いを込めて、同チームの会員が走った距離に応じて募金する「チャリティー・チャレンジ・ラン」を開始しました。寄贈された案内図は、昨年12月までに集めた募金で作成されたもので、当院には外国人が多く来院することから、日本語が分からない人も利用しやすい施設にしたいとの思いで企画されました。

贈呈式には、五十嵐俊久病院長、「DALE! DALE! コクサイ」の楠瑠美子^{くするみこ}代表やチームのメンバーが出席し、楠代表から五十嵐病院長に目録が手渡されました。五十嵐病院長は、「見やすい案内図を寄贈して頂きありがとうございます。今回の寄贈をきっかけに、より利用しやすい病院を目指していきたい」と感謝の気持ちを伝えました。

楠代表は「市立病院を利用する外国の方が、少しでもほっとした気持ちになってくれればと思います」と話してくださいました。

寄贈された案内図を、今回併せて寄贈された掲示板に入れ、1階入口付近に設置しました。



心臓血管外科における治療について

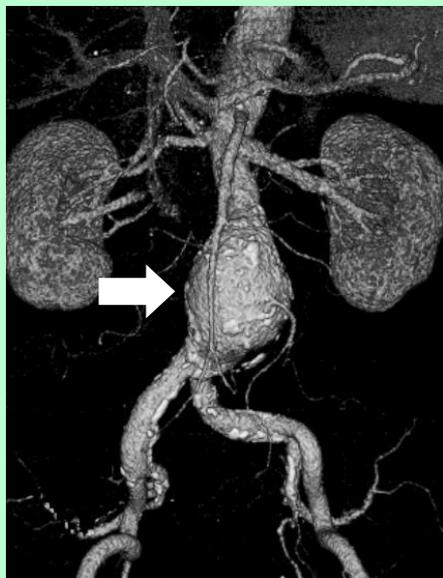
心臓血管外科上級医長 田村 幸穂



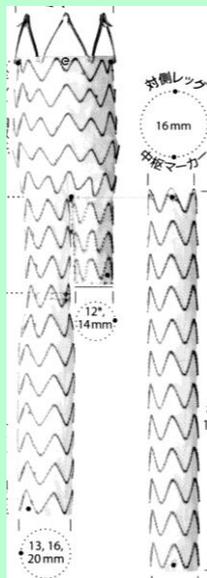
心臓血管外科では、腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、内臓動脈瘤（脾臓、腎臓など）、末期腎不全に対する内シャント手術などの末梢血管疾患に対する外科治療を行っております。

【腹部大動脈瘤】

一旦形成されてしまうと元のサイズに戻ることはありません。降圧剤で血圧をコントロールして拡張する速度を遅らせ、破裂するのを防ぎます。破裂のリスクと手術に伴うリスクのバランスで治療法を決めます。大動脈瘤が怖いと言われているのは、破裂する恐れがあるからです。破裂すると、お腹や腰に激痛が起こります。出血のため血圧が低下、腹部が膨隆し、危険な状態となります。腹部大動脈瘤に対しては全身状態、解剖学適応で判断し、瘤切除、人工血管置換術またはステントグラフト内挿術を行っています。



腹部動脈瘤治療前



ステントグラフト

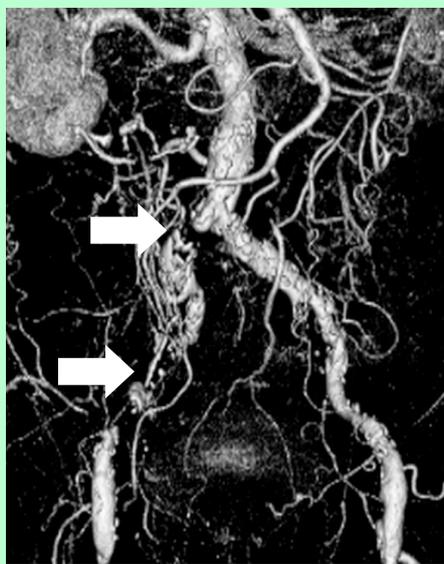


ステントグラフト内挿術後

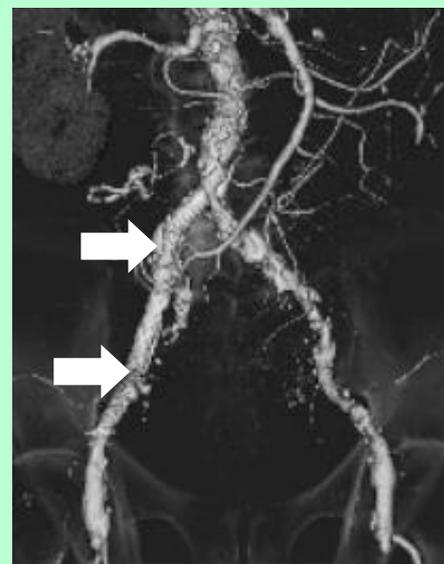
【閉塞性動脈硬化症】

数百メートル歩くと痛みやだるさで歩けなくなり、しばらく休むとまた歩けるようになる。このような場合、血管につまりがあって起こる疾患の可能性があります。閉塞性動脈硬化症は、動脈が弾力性を失って硬くなり、そこにコレステロールなどがたまって、血管の中が狭くなったり、つまったりして起きます。

重症化すると、足の冷感が強くなり、安静にしているでも足が痛い(安静時痛)、あるいは足に傷(潰瘍や壊疽)ができては治らなくなり、早急な治療を行わなければ、足を切断しなくてはならない場合もあります。可能であれば血行再建を行います。カテーテル治療（バルーン拡張、ステント留置）やバイパス術などによって血流を改善させることにより、症状の回復が望めます。



右総腸骨～外腸骨動脈閉塞 治療前



ステント留置術後

【下肢静脈瘤】

足の血管がボコボコと蛇行したように浮き出ている、皮膚が黒ずんできたり、足がよくつったりする、夕方に特にむくむようなことがあれば下肢静脈瘤が疑われます。

下肢静脈瘤にはいくつかのタイプがあり、側枝型、網目状、クモの巣状、とくに伏在静脈型の静脈瘤は静脈弁が壊れてしまい、逆流と伏在静脈の拡張があるものです。治療の基本はストッキング着用による圧迫療法ですが、伏在静脈を抜去するストリッピング手術、今後導入予定の血管内治療（高周波治療）などが必要となる可能性もあります。下腿については stab avulsion 法といって、数ヶ所の小さい傷で静脈瘤を切除することや、静脈瘤に薬を注入して固めてしまう硬化療法を行うこともあります。いくつかの治療法を組み合わせで行います。

当院CT装置がリニューアルされました!



右:CT装置搬入の風景(正面玄関)

左:2階にクレーンを使って持ち上げている様子(1Fロビー)

診療放射線科 石井 啓一郎

2016年4月より、320列のX線検出器を搭載した東芝社製「Aquilion ONE」が導入されました。当院が2008年に購入したSIEMENS社製の「sensation64」は64列でしたが、一気にその数が5倍に！一度に広い範囲を撮影することが可能となりました。頭や頸など、範囲の狭い部位はあっという間に撮影をすることができます。さらに高性能な画像処理方法により、被ばく線量の低減や更に診療に役立つ画像の提供が期待されています。

特に心臓の撮影が驚くほど変わりました。今までの機械では、「息を吸って止めてください」から「楽にしてください」と息を止めて撮影する時間がおおよそ15秒。ところが、今回入った装置で心臓の検査を行なうと、息止めの時間が最短で0.5秒！長くても5秒で心臓全体の画像を撮影することができます。息止めが長いという負担を減らすことができ、さらに精度高く撮影できるようになりました。

それだけ多くの性能を持ち合わせた機械。実はものすごく重いのです。寝台（患者さんが寝る台）で750kg、ガントリー（ドーナツ型の部分）だけで2.5tもあり、CT室に入っている機材を合計すると4t~5t！当院のCT室は2階にあるため、機械を搬入する時はフォークリフト・台車・クレーンまで使って大掛かりな作業となりました。そんな大きな機械が二階に置かれているなんて床が抜けちゃう、と心配されている方。安心して下さい。足元には頑丈な支柱もあり、耐加重もしっかり計算されています！

医療の現場は日々技術が進歩しており、装置そのものも定期的に更新されています。放射線科ではより精度の高い検査を行い、患者さんの被ばくの低減に努め、早期発見・早期治療に役立つ画像の提供を目標としています。

一緒に働きましょう！職員募集中！

<お問い合わせ先>

病院総務課 総務調整担当

TEL:046-260-0111 内線 2347

新任医師紹介

今年4月に着任しました。よろしくお願いします。

<呼吸器内科> 塚原 利典

「市民の皆さまの健康増進に寄与できるよう、研鑽を積んで参りたいと存じます。ご指導宜しくお願い申し上げます。」

久保 創介

「まだまだ不慣れなことが多々ありますが、よろしくお願いいたします。」

<小児科> 佐藤 和人

「地域の小児医療の充実のために、微力ながら貢献したいと思っています。」

杉山 弘樹

「横浜市でもたくさんの子供たちの診療ができて、少しずつですが成長できていると実感しております。大和市でも実りある一年となるよう尽力します。」

吉井 沙織

「今年度から小児科で働くことになりました。地域医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。」

<整形外科> 井上 徹彦

「整形外科医としてはまだまだかけ出しですが、少しでも貢献できるよう努力していきます。」

山田 祐嗣

「精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。」

<脳神経外科> 萩原 宏之

「希少となりつつある脳外科医ですが、山田先生とともに地域医療へご協力できればと思います。よろしくお願いいたします。」

<皮膚科> 内海 友理

「大和市の医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。まだまだ未熟者ではありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。」

<泌尿器科> 小高 久和

「3月まで初期研修医として2年間学ばせて頂きました。至らぬところが多くてご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。」

<腎臓内科> 安部 えりこ

「精一杯頑張ります。よろしくお願いします。」

<循環器内科> 及川 淳

「前任と同様、不整脈を専門としています。よろしくお願いします。」

宮城島 慶

「三鷹市にある杏林大学病院より赴任してきました。」

<外科> 小倉 直人

「消化器外科、特に下部消化器疾患を専門としています。腹腔鏡手術を得意としています。低侵襲手術で多くの患者様が恩恵を受けられるように頑張りたいと思います。」

古城 憲

「この度、大学での勤務、研究を経て、4年ぶりに大和市立病院の外科で働くこととなりました。地域に貢献できるようがんばります。」

<産婦人科> 荒田 与志子

「再び大和市立病院産婦人科で働かせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いします。」

古郡 恵

「大和市の医療に貢献できる様、精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。」

長内 奈々

「2年間市立病院で研修をさせて頂いていました。入局1年目で分からないことだらけですが、どうぞ宜しくお願いいたします。」

<呼吸器外科> 生駒 陽一郎

「前任に引き続いて、しっかりと努めてまいります。よろしくお願いいたします。」

<初期臨床研修医> 岡田 さら

「名古屋出身で、沖縄に6年住みました。人生の4分の1を沖縄で過ごしたので、沖縄のことは何でも聞いてください。」

川東 聖哉

「今年から研修医をさせて頂きたく川東です。よろしくお願いします。」

中村 元紀

「神奈川県逗子市育ち、富山大学卒の中村元紀と申します。若輩者ではありますが、皆様何卒よろしくお願いいたします。」

竹内 加奈

「横浜出身で、大学は群馬大学でした。1年間楽しく過ごしたいと思っています。」